

# 全会一致で抗議決議採択

## 北朝鮮の核実験に対して

3日、北朝鮮は、国際社会の強い抗議にもかかわらず、広島型の8倍とも言われる規模の核実験を強行しました。

上越市議会は、9月議会初日の5日、この暴挙に対して急



きょ全会一致で抗議決議を採択しました。

決議は、日本上空を通過する弾道ミサイルの発射など、北朝鮮が国連決議に違反する暴挙をくり返していることを指摘し、「我が国を始め、アジア・太平洋地域の平和と安全を脅かすものであり、国際社会全体に極めて深刻な危機を及ぼし、重大な不安を与える行為は断じて許すことはできない」とする強い抗議の意思を示す内容です。

## 上越市長選(10月29日投票)には“自主投票”で 日本共産党上越地区委員会

日本共産党上越地区委員会は、このほど10月の市長選挙に対する方針として、“自主投票で臨む”と発表しました。

日本共産党の選挙での基本的な立場は、①市民と野党の共闘でたたかう、②国と市の悪政に対してきっぱりと対決することです。これまで、この基本姿勢にもとづいて協議・検討を重ねてきましたが、広い共闘関係を結ぶことのできる候補者の擁立、推薦などにいたらなかったことから、このように決定したものです。

このことにかかわらず、日本共産党は、ひきつづき市民の命と暮らし、平和を守るために奮闘します。また、きたるべき総選挙をはじめ

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 562 2017年9月10日

連絡先 橋爪 正幸 090-5392-1961 (吉川区代石)  
橋本 公悦 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
上野 哲也 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

# 空と地上が連携しての消火訓練など

## 9/2に県・市総合防災訓練

災害の防止には、日ごろからの訓練と心構えが何よりも大事と、2日、総合防災訓練が看護大学と近くの関川河川敷で行われました。今年度の防災訓練は、県の訓練と合同で行われ、米山知事をはじめ、県内各自治体の消防や防災関係者も参加しての大規模なものとなりました。

想定は、高田平野西避難住民とともに、飼育する動物の避難訓練を行うこと。この訓練では、常備消防と消防団のほか、新潟県消防防災航空隊と富山県防災航空センターが協力し、2台のヘリコプターを使って陸と空からの消火活動を繰り返し行われました。同時に、ドローンによる空撮を行って、消火状況も映像で把握しました。

また、今回は動物同行避難訓練も併せて行われました。これは、飼育する動物の避難訓練を行うこと。この訓練では、常備消防と消防団のほか、新潟県消防防災航空隊と富山県防災航空センターが協力し、2台のヘリコプターを使って陸と空からの消火活動を繰り返し行われました。同時に、ドローンによる空撮を行って、消火状況も映像で把握しました。

まず、知事の言うように行政による防災総力を高めることに力を尽くすが、行政の責任ではないでしょうか。昨今は、「自助・共助」が強調され、うっかりすると災害から身を守ることも自己責任であるかのように語られる風潮があります。しかし、自助や共助だけでは追いつかないのが災害です。そのため「公助」を担う行政があるのです。



最初に、地震の発生に伴う緊急情報を防災行政無線などで一斉に配信するとともに、各地の総合事務所や県の災害対策本部などとも瞬時に連絡をとり、実際の訓練に入りました。昨年暮れの糸魚川市での大規模火災を踏まえ、住宅密集地の火災防衛訓練も行われました。

このほかに、災害時の臨時放送訓練、福祉避難所を含めた避難所の開設・運営訓練、倒れた樹木の処理訓練、道路上に散乱した木材やコンクリート塊、電柱等を撤去する訓練、土砂や瓦れき、倒壊した家屋などからの救出・救助訓練、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練、救援物資輸送・受入訓練、それに多数の遺体を取扱う訓練など、あらゆる分野の訓練が行われました。

閉会式で講評した米山知事は、「最新の知見で、自治体や国、自衛隊、海上保安庁、消防、医療、福祉など多くの方々に力を発揮してもらえる体制を作り、地域の防災総合力を高めていきたい」と述べました。

